

ハバードカラー種鶏の断食プログラム

0日目を鶏群の2%産卵到達日にします。

X = 2%産卵到達日のどのような給餌量でも

日	春産卵鶏群		秋産卵鶏群	
	給餌量 (g)	自然日長 (時間)	給餌量 (g)	自然日長 (時間)
0	x	12	x	12
1	無給餌	12	無給餌	12
2	x	12	x	12
3	無給餌	12	無給餌	12
4	x	12	x	12
5	無給餌	12	無給餌	12
6	x+3	12	x+3	14
7	無給餌	12	x+3	14
8	x+3	12	産卵に 応じて 給餌	14
9	無給餌	12		14
10	x+5	14		14

以降産卵に応じて
(ピーク給餌量は、55%産卵で達成されるべき)

ひとたび鶏群の産卵が始まると、非常に急速に進みますので通常より日給餌量を増加させる準備が必要です。日ベースで55%産卵に達すると直ぐに給餌量は、ピーク給餌レベルが必要です(125~130g)。光線もまた、この段階で15時間に増加させるべきです。

この実践を行うことで、初産時に初期卵重は約2g大きくなります。孵化場で必要サイズ下回るためにはねられる廃棄の卵を減らせることができます。従って、初期の種卵から雛の生存能力に加えて、鶏群の投資収益を改善します。